

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

会社名	株式会社エーゼット
所在地	大阪市鶴見区茨田大宮 1-7-59
担当者	営業部
電話番号	06-6915-3501
F A X 番号	06-6915-1202
緊急連絡先	所在地に同じ
作成日	2014/03/03
改訂日	2022/11/17

製品名： AZ 強力・速乾パーツクリーナー <PA-002>

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

エアゾール

区分 1

健康に対する有害性

皮膚腐食性／刺激性

区分 2

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

区分 2A

生殖毒性

区分 1A

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

区分 3（気道刺激性、麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

区分 1（神経系、肝臓）

誤えん有害性

区分 1

環境に対する有害性

水生環境有害性・短期（急性）

区分 2

※記載がないものは区分に該当しない、または分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H222: 極めて可燃性の高いエアゾール

H229: 高压容器：熱すると破裂のおそれ

H315: 皮膚刺激

H319: 強い眼刺激

H360: 生殖能または胎児への悪影響のおそれ

H335: 呼吸器への刺激のおそれ

H336: 眠気またはめまいのおそれ

H372: 長期にわたる、または反復ばく露による神経系、肝臓の障害

H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

H401: 水生生物に毒性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分及び含有量(重量%) 石油系溶剤(50-70%)、エタノール(1-20%)、噴射剤(LPG, CO₂) (20-40%)

化学式または構造式 企業秘密のため非公表

CAS No. 企業秘密のため非公表

4. 応急措置

- 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。
- 眼に入った場合：水でよく洗う。コンタクトレンズを装着している場合、固着していなければ外す。十分洗浄後、医師の手当を受ける。
- 皮膚にかかった場合：水と石けんで十分、洗う。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。濡れた衣類を再着用する場合は洗濯する。
腫れ、痛みが生じる場合、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法：速やかに容器を安全な場所に移す。
消火に棒状の水を使用してはいけない。
初期の消火には下記の消火剤を用いる。
- 消火剤：霧状強化剤、泡、粉末、炭酸ガス

6. 漏出時の措置

- 保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。
風上から作業する。
砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。
土壌、河川、湖沼、海域、下水道等に流入しないように注意する。
浸透性及び揮発性があるので、付近の着火剤になるものは速やかに取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い：関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。
製品の使用中、飲食および喫煙しない。
熱、火花、火炎、高温のものから遠ざける。
必要に応じて呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。
屋外または通気性が良い場所で使用する。
常温で取り扱い、その際、蒸気の吸入、原液との接触に注意する。
使用後は手洗いを十分する。
- 保管：屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。
ふたを必ず密閉する
ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 設定されていない
- 許容濃度 日本産業衛生学会 石油系溶剤：設定されていない
エタノール：設定されていない
ACGIH(TLV-STEL) 石油系溶剤：1000ppm
エタノール：1000ppm
- 設備対策 排気装置を設けるか通気性を良くする。
身体洗浄、うがいができる洗浄設備を設置する。
- 呼吸用保護 必要であれば防毒マスクを着用する。
- 眼の保護 保護眼鏡を着用する。
- 手の保護 耐溶剤性の手袋を着用する。
- 皮膚、身体の保護 長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業着等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観等 無色透明液体

揮発性	あり
密度	約 0.70g/cm ³ (15°C)
溶解性	水に不溶
引火点	13°C未満 (タグ密閉式)
発火点	データなし
爆発限界	データなし

10. 安定性及び反応性

可燃性	あり
安定性	安定
反応性	強酸化剤との接触を避ける。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	石油系溶剤	LD ₅₀ >15800mg/kg (ラット)
		エタノール	LD ₅₀ >6200mg/kg (ラット)
刺激性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。		
感作性	有用なデータなし		
変異原性	有用なデータなし		
発がん性	有用なデータなし		
生殖毒性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。		
特定標的臓器毒性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。		
誤えん有害性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。		

12. 環境影響情報

生態毒性	石油系溶剤	データなし	
	エタノール	藻類(クロレラ)	EC ₅₀ >100mg/L (96h)
残留性・分解性	石油系溶剤	データなし	
	エタノール	急速分解性あり	

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号	1950
品名	エアゾール
国連分類	クラス 2.1
輸送時には「取扱いおよび保管上の注意」の項に記載した内容に留意するほか、容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。	
さらに関連法令に従った措置も講じる。	

15. 適用法令

消防法	第4類第1石油類 危険等級II
労働安全衛生法	通知対象物：ヘキサン、エタノール、ブタン 表示対象物：ヘキサン、エタノール、ブタン
PRTR法	非該当
廃棄物の処理および清掃に関する法律	産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）

16. その他

参考文献	1.化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂8版 (2019) 2.日本規格協会 JIS Z 7252:2019、JIS Z 7253:2019 3.独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite) [GHS 関連情報] 4.各原料の SDS
------	---

注意事項

この安全データシート(SDS)は入手可能なデータをもとに通常の取り扱いを想定して作成したものです。

SDS は安全の保証を約束するものではありません。

取扱者は状況に応じて使用してください。

SDS の内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。
